



『剣道との出会いとこれからの私』



宮崎県
宮崎神武館道場
小学6年 山石 健翔

「勉強をします。剣道をします。良い行いをします。」

三年生も終わろうとしている一月、冷え冷えとした道場、一列になって正座をしている先生方、先輩方。

これが剣道との出会いでした。

運動が苦手な私が、いろんなスポーツを見ても、動くことがなかった心が、初めてふるえた瞬間でした。

あれから二年と半年が過ぎ、私は六年生になりました。

神武館道場では、小山田館長を中心に、たくさんの先生方が、指導をして下さいます。

それと、剣道以外にも、季節に合わせて、もちつき、節分などの行事、日本の文化についても学ばせていただける道場です。

「基本に忠実に、前へ前へ。」

毎日、館長の声が響きわたります。体力のない私は、同じ学年はもとより、下級生にもついていけません。くやしさと、息ができないくらいのつらさで、涙が出たこともありました。

真夏、前へ前へと思っているのに足が出ない。もう手足が、パンパン、ついていけない、もう無理、もう限界、もう動けない、涙が落ちます。

いつもの弱音虫が、私の体に飛びまわります。そんな時は、必ずと言っていいほど、

「山石。」

ハッとして顔を上げると、汗だくの館長が声をかけて下さいます。館長も息が上がっています。

私は、はずかしい気持ちになります。自分に限界という線を引いてしまったからです。

暑い夏、寒い冬、どんな時でも、一番声を出しているのは、館長なのです。どんなに下手でも熱心に、一つ一つ丁寧に指導をして下さいます。そして、私の事を見て下さいます。

剣道に出会えて良かったと思います。

これから先、私は、試合で良い成績は残せないかもしれませんが。それでも、館長の思いに答えるように、基本に忠実に、前へ前へ。

いろんな事が劣っていても、基本に忠実に前へ前へ。そして、中学、高校、大学、社会人になっても、剣道を続けたいと思うのです。

「勉強をします。剣道をします。良い行いをします。」

今日も、道場に響きわたります。剣道、館長、先生方、たくさんの友達に出会えて良かったと思います。



最後になりますが、父と母へ。

私のために、一生懸命働いて下さり、ありがとうございます。

私のために、送り迎え、朝早く起きて、弁当を作って下さり、ありがとうございます。

私がこんなふうに、感謝の気持ちをもてるようになった、剣道に出会わせて下さり、ありがとうございます。

これからも、勉強、剣道、良い行いのできる人になるよう努力するので、見守って下さい。

これが、私の剣道との出会い、そして、これからの私の思いです。